



日本遺産
JAPAN HERITAGE
糸都物語

由木中央小



令和7年5月30日
学校だより 第3号
八王子市立由木中央小学校

教育目標 「すすんで学習をしよう」 「あったかい心をもとう」 「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school.ed.jp/yugce/>

校長 松山 大作

「全力 協力 心をついに 笑顔あふれる」に取り組んだ運動会

運動会委員長 平林 玲玉那

5月24日、無事、運動会を開催することができました。全学年徒競走と表現運動、由木音頭、そして2学年合同で団体競技を行いました。また、今年は全学年が一堂に会し、他学年の活躍を応援し合い、高学年の係活動を見ることもできました。さらに、赤白に分かれて得点を競い合う形式にしました。

今年度は連休前から運動会に向けて練習を始める学年が多く、振り付けや隊形移動を覚えるために、子どもたちは必死に練習に取り組みました。中には、友達と振りをそろえるために、休み時間に教室で練習したり、「放課後に公園や家で、友達と練習をしたよ。」と教えてくれたりした子どもたちもいました。その成果もあり、練習を重ねるうちに動きがそろい、子どもたちの踊っている表情も、自信に満ちた表情へと変わっていききました。団体種目の練習では、赤白それぞれの組で闘志を燃やし、勝利に向けて作戦を立てるような姿もありました。また、高学年は係としてそれぞれ役割に分かれ、運動会当日に向けて仕事の確認や準備を丁寧にしたり、熱心に練習したりする姿もありました。

運動会本番では、どの子どもがこの日のために最後まで全力で練習してきた成果を、思う存分発揮することができました。演技・競技終了後に子どもたちが見せてくれた、ほっとしたような晴れやかな顔や、充実した表情が印象的でした。また、全校による由木音頭では中学生も参加し、古くから由木地区に伝わるものをこれからも大事に継いでいく想いを感じることができました。応援合戦や競技中では、応援団を中心に他学年の応援に一生懸命になっている子どもたちの姿がありました。勝敗がついた後も、どの子ども自分や仲間の頑張りを讃えている様子が立派でした。

子どもたちには、運動会に向けて一人一人が努力し、仲間と協力し、心を合わせて取り組んだこと、そして笑顔で互いの頑張りを認め合えたことを自信にし、今後の学校生活に活かしてほしいと思います。

保護者の皆様には、日々の子どもの体調管理や体育着や衣装などの準備、また、会場の参観エリアやルールへのご理解、拍手での声援、マナーを守っての観覧をありがとうございました。PTA本部の皆様には、受付や優先参観エリア入れ替えの声掛け等、様々な場面でご協力いただきました。重ねて感謝申し上げます。



1年 「ザ・ドラえもんズ～みんなちがってみんないい～」



2年 「青と春 ～主役はぼくらだ！～」



3年 「おどれ！由木っ子ダンス！！」



4年 「由木っ子エイサー」



5年 「南中ローラン ～よっ、ぱらぼう！～」



6年 「日進月歩のstory」

特別支援教育 スタッフの紹介

本校では、支援を要する児童のニーズに応じた教育を展開しています。校内委員会で情報共有し、早期対応・外部関係機関との連携・保護者との相談活動等の充実を図っています。校内委員会には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー(月1回)も参加しています。

特別支援教育コーディネーター

特別支援教育の主担当として、校内委員会を取りまとめ、学校外の関係機関とも連携します。

特別支援教室専門員

特別支援教室の巡回指導教員と担任との連絡調整、巡回心理士との連携等を行います。

学校サポーター

支援が必要な子どもや学級へのサポートを行います。

チャレンジ教室(特別支援教室)

児童の個々の課題を克服するために週1~2時間、特別支援教室で小集団学習や個別学習を行います。下柚木小学校から巡回指導教員が来校し、指導にあたります。(月・火・水・金)

スクールカウンセラー

児童や保護者からの相談をお受けしています。(火曜日勤務)

巡回心理士

児童の様子を見て、専門的な立場から教員等に助言します。

開校記念朝会を行いました(5月12日)

5月10日(土)は、由木中央小学校の開校記念日でした。今年度は開校152周年になります。5月12日(月)の全校朝会は「開校記念朝会」として、6年生の時に開校100周年記念式典を経験された、地域のお住まいの卒業生の方にご来校いただきました。

校長先生がインタビューをしながら、52年前の由木中央小学校や地域の様子、子どもたちの様子、給食等についてお話をいただきました。またこの方のお父様が描かれた「南大沢の絵図」を見せていただきながら、地域の様子も教えていただきました。「南大沢の絵図」は、現在、校長室に飾らせていただいています。



給食の時に、校長先生の放送による「乾杯！」の合図で学校の誕生日を全校で祝いました。



ふれあい月間・いのちの大切さを共に考える月間

生活指導主幹 槇田 紀子

日頃、本校の教育活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。

6月は、例年「ふれあい月間」、そして「いのちの大切さを共に考える月間」として日頃の取り組みに加えて、いじめ防止の授業やセーフティ教室などを行い、人権尊重の精神、いのちの大切さについて学んでいきます。

まだまだ未熟な子どもたちですので、コミュニケーション不足による誤解からのすれ違いや、小さな悪ふざけからの喧嘩などは少なからずあります。その解決の仕方を学ぶ中で、必要に応じて教師が介入し、いじめの芽を見付け早期に解決できるように指導していきます。

今後も安心して生き生きと過ごすことができる学校を目指して、以下の生活指導の方針・体制で取り組んで参ります。

いじめ防止の取り組みについて

- ① 八王子市立由木中央小学校の「いじめ防止基本方針」(HPに掲載)を基に、児童の安心と安全に努め、全教職員が「いじめはどのような理由があろうとぜったいに許さない」という強い姿勢で臨む。
- ② 「いじめ認知などの支援タイム」を毎週木曜日に行い、小さいいじめの芽も見逃さずにいじめ防止の指導にあたる。
- ③ 教職員全員が生活指導の約束や指導上の留意点について共通理解し、指導に当たる。
- ④ 「子ども見守りシート」を活用し、家庭とも連携して、子どもの気になる様子を共有する。
- ⑤ 毎月の生活目標を設定し、各クラスの目標を立てて取り組み、月末に振り返りを行い、目標の定着を図れるよう計画的に指導する。
- ⑥ 生活リズム表に取り組み、規則正しい生活への意識を高め、生活リズムの見直しを図る。
- ⑦ 言語環境を整え、適切な言葉遣いの指導を行い、望ましい人間関係をつくる。
- ⑧ いじめアンケートの定期的実施、スクールカウンセラーとの面談、全児童対象の「わたしのいじめ防止宣言」の実施等を通して、いじめの未然防止や早期発見・対応・解決に努める。
- ⑨ 生活指導部内で定期的に情報交換を行う。また、毎週火曜日にいじめ対策委員会を開催し、管理職、生活指導主任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、特別支援教室専門員および特別支援教室主任がチームとなり、組織的な対応をすすめる。
- ⑩ 小中一貫教育グループ3校合同で「いじめ防止研修」を実施する。

体罰防止の取り組みについて

- ① 校長による「暴力・体罰の防止」の講話を実施し、学校全体で非暴力の気風を浸透させる。
- ② 教職員研修を実施し、「体罰や不適切な指導はしない。させない。許さない。」ことを再認識する。
- ③ 教職員全員が、「体罰セルフチェックシート」を毎月記入する。
- ④ 教職員全員が、体罰が人格を否定する行為であることを学び、体罰防止のための標語を考え、意識して指導にあたる。
- ⑤ 子どもたちからも保護者からも、相談活動が一層促進されるようスクールカウンセラーをはじめ、教職員全員が相手の気持ちに真摯に寄り添い、丁寧に対応する。

1学期 学校公開 6月21日(土)

学校の教育活動の様子をご覧いただき、さらに理解を深めていただくために、1学期の学校公開を行います。

公開時間 2校時 (9 : 20 ~ 10 : 05)
3校時 (10 : 25 ~ 11 : 10)
4校時 (11 : 15 ~ 12 : 00)

水泳指導が始まります

水泳がある日は、保護者の方がホーム&スクールの「検温報告」に、体温と参加・不参加の入力をお願いします。入力がないと水泳指導には参加できません。

定期健康診断の結果、「健康診断の治療のお知らせ」を受け取った児童は、医師の許可をもらい、学校に返信票を提出してから参加してください。どうぞよろしくお願いいたします。